

北区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称			実施主体			
ブックスタート事業「はじめての絵本」			北図書館・北保健センター・企画総務課			
事業目的	事業内容	活動指標	R3	R4	R5	
乳児とその保護者に絵本を配布するとともに、読み聞かせを実施する。これらを通じて参加者が親子の絆を深めるとともに、保護者に子育ての喜びを感じてもらう。	<ul style="list-style-type: none"> ・北保健センターで実施する4か月児健診時(月2回)に北図書館の協力を得て選定した絵本を配布する。 ・北保健センターで実施する「子どもの歯相談室」にあわせて、ボランティア団体による絵本の読み聞かせを開催する。 	絵本の配布数	1,405冊	1,361冊	1,276冊	
①妥当性	②協働の視点	③インパクト		④効率性		
○ 乳児とその保護者に絵本に触れる機会を提供し、ボランティア団体による読み聞かせを実施することで、親子の絆の深まりや子育て支援に寄与している。北区みんなのまちビジョンに掲げた「みんなで関わる子育ての街」の実現につながる事業であるため、実施の妥当性は高い。	○ 北図書館及び図書館を拠点として活動するボランティア団体と連携し、北保健センターで実施している「子どもの歯相談室」の受診者とその保護者を中心に、月1回読み聞かせを実施した。年間を通じて延べ250人の子どもと保護者が参加し、区民との協働事業として運営を行うことができた。	○ 絵本の配布とともに、市民ボランティアによる読み聞かせを実施し、ボランティア団体から図書館の利用や他の読み聞かせ会への参加を促すことで、親子が本に親しむきっかけづくりを提供できている。	○ 北保健センターで実施している4ヶ月健診に合わせて絵本を配布しており、対象者に効率的に配布することができている。また読み聞かせの際に使用する絵本を、同日に実施している「子どもの歯相談室」に合わせた内容(歯みがきに関する絵本)とすることで、歯の健康に関する啓発を合わせて実施している。			
⑤自立発展性	総合評価					
△ 行政が絵本を購入し、対象者に配布することから、区民が自立して実施することは難しい。読み聞かせについては、ボランティア団体が主導となって自立発展できる可能性がある。	○ 本事業によって、子どもの心(情緒・想像力・創造力)を育てるとともに、親子の絆を深め、保護者に親子の触れ合いの大切さを感じてもらえることに役立っていると考え。また、子育て世代が多い北区においては、特に効果的な事業であると考え。					
今後の方向性(課題、改善提案等)						
拡充 継続 見直し 廃止	絵本の配布・読み聞かせを通じて親子の触れ合いや子育ての喜びを感じてもらうことに寄与しており、事業を継続させていく必要があるものとする。また、単に絵本を配布することだけで終わらせず、全4か月児と保護者とのタッチポイントである性質を活かし、様々な情報の提供の場として活用していく必要がある。					